

製品名: HDGF ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11957**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	HDGF HMG1L2
別名	Hepatoma-derived growth factor (HDGF; High mobility group protein 1-like 2; HMG-1L2)
遺伝子 ID	3068.0
SwissProt ID	P51858
免疫原	アミノ酸配列範囲 141-190 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

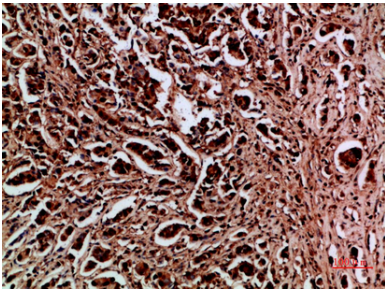
この遺伝子は、肝癌由来増殖因子ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、細胞分裂促進活性および DNA 結合活性を有し、細胞の増殖および分化において役割を果たしている可能性があります。この遺伝子の高発現は、多くの腫

瘍の増殖を促進します。この遺伝子は当初、X染色体に位置すると考えられていましたが、その位置は関連する擬似遺伝子に対応することが判明しました。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2016年1月],ドメイン: PWWP ドメインはヘパリン結合部位を有し、DNA 結合を担っていますが、C末端領域は基本的に構造化されていません。機能: 線維芽細胞に対して細胞分裂促進活性を持つヘパリン結合タンパク質。転写抑制因子として作用します。PTM: SUMO1 によって SUMO 化されます。SUMO 化によりクロマチンへの結合が阻害される。類似性: HDGF ファミリーに属する。類似性: 1つの PWWP ドメインを含む。サブユニット: モノマー、およびドメイン交換ホモダイマー。組織特異性: 普遍的。

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された